



## 1. 化学品及び会社情報

重要な情報	*** この安全性データシートは、HP による HP 純正製品のみでの使用が許可されています。この安全性データシートを許可なく使用することは禁じられており、許可なく使用した場合、HP により、法的措置が講じられることがあります。***	
化学品の名称 (製品名)	3UB24series	
	HP Japan Inc. 5F Ojima2-2-1 Koto-ku Tokyo, Japan 136-8711	
毒物情報センターの電話番号	0120-50-3024	
電話番号	(+81) 3 5628-1101	
HP Inc. 健康影響行		
米国内通話料無料 (直通)	1-800-457-4209 1-760-710-0048	
HP Inc. 顧客に対する注意事項行		
米国内通話料無料 (直通)	1-800-474-6836 1-208-323-2551	
電子メール	hpcustomer.inquiries@hp.com	
推奨用途及び使用上の制限		
推奨用途	インクジェット印刷	

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類		
物理化学的有害性	引火性液体	区分2
健康有害性	GHS分類基準に該当しない。	
環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(長期間)	区分1

GHSラベル要素  
記号

注意喚起語	危険
危険有害性情報	引火性の高い液体及び蒸気。長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
注意書き	
安全対策	熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。容器および受槽には接地 / 電気良導体を取り付ける。防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。保護手袋 / 防護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。環境への放出を避けること。
応急措置	皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。火災の場合: 消火するために砂, carbon dioxide (CO2) or dry chemicalを使用すること。漏出物を回収すること。
保管	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
廃棄	内容物 / 容器を地域 / 地方 / 国 / 国際規則に従って廃棄すること。
GHS分類に該当しない他の危険有害性	長期、または繰り返し皮膚に接触すると乾燥、ひび割れ、炎症を起こす可能性がある。
その他の情報	なし。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
エチルアルコール	64-17-5	(2)-202	(2)-202	<90
酢酸エチル	141-78-6	(2)-726	(2)-726	<7.5
Chromium, 1-[2-[5-(1,1-dimethylpropyl)-2-hydroxy-3-nitrophenyl]diazanyl]- 2-naphthalenol 1-[2-[2-hydroxy-4(または 5)-nitrophenyl]diazanyl]-2-naphthalenol Ammonium Sodium Complexes	61901-87-9	(5)-3147	(5)-3147	<6

別名	HP 2590
化学式	C2-H6-O (64-17-5), C2-H6-O (64-17-5), C4-H8-O2 (141-78-6), C4-H8-O2 (141-78-6)

### 4. 応急措置

吸入した場合	患者をすぐに新鮮な空気のある場所に移動させること。 ヒヤ・ヤ・ツウ、ケ、・ ・ 遠マ痔、ケ、-- 蟻1、ヒチ・フ、ケ、ウ、ネ。」
皮膚に付着した場合	触れた場合は直ちに汚染された着衣を脱ぎ、皮膚を豊富な流水で洗浄してください。再使用する前に衣類を個別に洗濯する。 必要な場合は医師の手当てを受ける。
目に入った場合	目に入った場合は、コンタクトレンズをはずし、まぶたの内側も含めて、直ちに最低15分間多量の水で洗う。 ただちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水でうがいをしてください。本物質を飲み込んだ場合、直ちに医師の手当てかアドバイスを受けてください。-- 吐かせないようにしてください。意識のない人には、絶対に、口から何も与えてはいけません。 ただちに医師の手当てを受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤	適切な消火剤: 砂, 二酸化炭素 (CO2) または 粉末消火剤.
使ってはならない消火剤	なし。
特有の消火方法	容器を移動させるのに危険がともなわなければ、容器を火から離れた場所に移してください。
消火を行う者の保護	消防員は自給式呼吸装置を含む完全な保護服を着用すること。水路に連なる雨水路や溝に流出させてはならない。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	皮膚への接触を避ける。蒸気または霧を吸入しないようにしてください。 流出物質に触ったり、踏んだりしない。十分に換気してください。付近の発火源となるものを速やかに取り除く。 皮膚または眼への接触を最小限に抑えるために、保護具を用いること。蒸気形成の場合は、認可されたフィルターの付いた呼吸装置を使用する。
環境に対する注意事項	表流水や下水道へ流さないこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	データなし。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策 (局所排気、全体換気等)	データなし。
安全取扱注意事項	本生成物は換気を十分に行って使用してください。
衛生措置	本物質を皮膚に接触させない。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。 使用中は飲食や喫煙をしない。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。 汚染された着衣は、再度使用する前に洗濯してください。
保管	
安全な保管条件	乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。熱、火花、火災から遠ざけること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

## 職業暴露限度

作業環境評価基準(昭和63年9月1日号外、労働省告示第79号)別表

成分	タイプ	値
酢酸エチル (CAS 141-78-6)	管理濃度	200 ppm

日本産業衛生学会 - 許容濃度

成分	タイプ	値
酢酸エチル (CAS 141-78-6)	TWA	720 mg/m3 200 ppm

ACGIH

成分	タイプ	値
エチルアルコール (CAS 64-17-5)	STEL	1000 ppm
酢酸エチル (CAS 141-78-6)	TWA	400 ppm

## 保護設備

呼吸器の保護具 適切な換気を行う。換気が十分でない場合は、適切な呼吸装置を着用します。

手の保護具 推奨される手袋:ニトリル最低厚さ: 6 mil

## 衛生措置

本物質を皮膚に接触させない。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。  
 使用中は飲食や喫煙をしない。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。  
 汚染された着衣は、再度使用する前に洗濯してください。

## 保護設備

眼の保護具 保護眼鏡をかける。科学の保護眼鏡 (もし飛び散る可能性がある場合。)  
 眼の洗浄用噴水と緊急用シャワーをお勧めします。

皮膚及び身体の保護具 適切な耐化学薬品性の衣服を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 外観

物理的状態 データなし。

形式 液体。

色 黒色。

匂い 溶剤。

pH データなし。

融点・凝固点 データなし。

沸点、初留点、及び沸騰範囲 データなし。

引火点 3.0 °C (37.4 °F) セタフラッシュ密閉式

## 燃焼又は爆発範囲

燃焼範囲の下限(%) データなし。

燃焼範囲の上限(%) データなし。

爆発下限界(%) データなし。

爆発上限界(%) データなし。

蒸気圧 データなし。

蒸気密度 データなし。

比重 データなし。

## 溶解度

水溶性 データなし。

n-オクタノール / 水分係数 データなし。

自然発火温度 (発火点) データなし。

分解温度 データなし。

粘度 (粘性率) データなし。

### 10. 安定性及び反応性

反応性	データなし。
化学安定度	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	未知
避けるべき条件	熱、炎、火花。
混触危険物質	なし。
危険な分解生成物	なし。

### 11. 有害性情報

急性毒性	入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
皮膚感作性	入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
生殖細胞変異原性	入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
発癌性	入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
生殖毒性	入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
吸引性呼吸器有害性	入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
その他の情報	本製品に関する詳細毒性データなし。 健康に及ぼす影響についてはセクション 2、応急措置についてはセクション 4 を参照。

### 12. 環境影響情報

水生生物毒性	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。  急性魚毒性(マス)、止水式、生存率(10 mg/L) = 0%.
--------	--

#### 生態毒性データ

成分	種		試験結果
エチルアルコール (CAS 64-17-5)			
水生			
甲殻類	EC50	ミジンコ	9268, 48 時間
魚類	LC50	魚類	12900, 96 時間
生態毒性	データなし。		
残留性/分解性	データなし。		
生体蓄積性	データなし。		
生体内蓄積の可能性			
オクタノール / 水分配係数 log Kow			
エチルアルコール		-0.31	
酢酸エチル		0.73	
土壌中の移動性	データなし。		
オゾン層への有害性	データなし。		

### 13. 廃棄上の注意

地域の廃棄規制	一般事務所廃棄物といっしょに廃棄しないでください。 本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。 廃棄物は地方自治体、州、連邦政府及びカナダの州の環境法令に従って廃棄してください。 適切な資格を持つ廃棄物処理業者に収集と廃棄を依頼してください。
---------	--

## 14. 輸送上の注意

### DOT

国連番号	UN1210
UN正式輸送品目名	印刷インク
輸送危険有害性クラス	
クラス(Class)	3
副次危険性	-
パッキンググループ	II
使用者のための特別な予防措置	データなし。

DOT補足情報 DOT分類は、米国およびプエルトリコ内での出荷にのみ適用されます。

### IATA

国連番号	UN1210
UN正式輸送品目名	印刷インク
輸送危険有害性クラス	
クラス(Class)	3
副次危険性	-
パッキンググループ	II
環境有害性	いいえ。
使用者のための特別な予防措置	データなし。

### I M D G

国連番号	UN1210
UN正式輸送品目名	印刷インク
輸送危険有害性クラス	
クラス(Class)	3
副次危険性	-
パッキンググループ	II
輸送危険有害性クラス	
海洋汚染物質	いいえ。
EmS	データなし。
使用者のための特別な予防措置	データなし。

### ADR

国連番号	UN1210
UN正式輸送品目名	印刷インク
輸送危険有害性クラス	
クラス(Class)	3
副次危険性	-
有害No.(ADR)	データなし。
トンネル規制コード	データなし。
パッキンググループ	II
環境有害性	いいえ。
使用者のための特別な予防措置	データなし。

ADR; IATA; I M D G





緊急時応急措置指針番号

129

詳細情報

大量輸送の場合は、MARPOL 73/78 附属書 II および次の IBC コードに準拠: 該当なし。

5 L 以下のコンテナを配送する際は、海洋汚染物または環境有害物質にはなりません。

## 15. 規制情報

### 労働安全衛生法

#### 有機則

##### 第二種有機溶剤

##### 酢酸エチル

#### 通知対象物

エタノール

別表第9 政令番号 61

0 - 90 %

酢酸エチル

別表第9 政令番号 177

0 - 7.5 %

#### 表示対象物

エタノール

0 - 90 %

酢酸エチル

0 - 7.5 %

### 毒物及び劇物取締法

#### 特定毒物

該当せず。

#### 毒物

該当せず。

#### 劇物

酢酸エチル

### 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

#### 第一種特定化学物質

該当せず。

#### 第二種特定化学物質

該当せず。

#### 監視化学物質

該当せず。

#### 優先評価化学物質

該当せず。

#### 届出不要物質

該当せず。

### 化学物質排出把握管理促進法

#### 特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

#### 第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

#### 第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

### 消防法

第四類第一石油類(非水溶性液体) 危険等級II

### 船舶安全法・危規則

引火性液体類

### 航空法・施行規則

引火性液体類

### 火薬類取締法

該当せず。

### 海洋汚染防止法

エチルアルコール

Z類

## 悪臭防止法

酢酸エチル

## 規制情報

このHP 製品に含まれるすべての化学物質は、以下の国々における化学物質管理法の下で審査を受けたか、または通知を免除される：米国 ( TSCA )、EU (EINECS/ELINCS)、スイス、カナダ (DSL/NDL)、オーストラリア、日本、フィリピン、韓国、ニュージーランドおよび中国

## 16. その他の情報

この安全データシートのドキュメントはHPの顧客に無料で提供されています。データは、このドキュメントが作成された時点でHPが知りうる中で最新のものであり、かつ正確なものであると考えられています。これは製品の特定のプロパティを保証するものとして受け取られるべきでなく、また特定の用途に適していると受け取られるべきでもありません。このドキュメントは、上記セクション1で指定された司法管轄権の要件に対して作成されたものであり、他の国々における規制上の要件を満たしているわけではありません。

## 改訂情報

1. 化学物質等及び会社情報：その他の商標名
  3. 組成、成分情報：開示設定の上書き
- 組成、成分情報: 組成コメント  
物理及び化学的性質: 複数特性

## 略語の説明

ACGIH	米国産業衛生専門家会議(American Conference of Governmental Industrial Hygienists)
CAS	ケミカル・ アブストラクト・ サービス
CERCLA	包括的環境対応補償責任法
CFR	連邦規制基準
COC	クリーブランド開放式
DOT	(米) 運輸省 、 DOT
EPCRA	緊急計画・ 地域社会の知る権利法
IARC	国際がん研究機関
NIOSH	国立労働安全衛生研究所
NTP	国家毒性プログラム
OSHA	労働安全衛生局
PEL	許容暴露限界
RCRA	米) 資源保護回収法
REC	推奨
REL	推奨暴露限界
SARA	スーパーファンド改正・ 再承認法
STEL	短期暴露限界
TCLP: <値>	有害物質の溶出毒性試験法
管理濃度	しきい値限界値
TSCA	有害物質規制法
VOC	揮発性有機化合物